



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
コード番号 5742 URL <https://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長 CEO (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 浦山英朗

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 2023年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,132	6.9	51		31		19	
2022年3月期第3四半期	5,511	11.3	175	1.8	182	5.5	183	69.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 37百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 154百万円 (2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2023年3月期第3四半期	3.55	
2022年3月期第3四半期	33.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,295	4,378	52.8
2022年3月期	8,713	4,639	53.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,378百万円 2022年3月期 4,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		20.00		21.00	41.00
2023年3月期(予想)				21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

当社の主力製品である「アルファフレームシステム」の一般顧客向け販売は堅調に推移しておりますが、アルミ地金価格をはじめとした原材料価格の高騰が続いている状況下において、取引先より多種多様な案件の引き合いがあるものの、各種調達機器・部品の不足や納期遅延等が未だに解消されておらず、案件の進捗や納期が不確定な状況にあることから、引き続き当期の連結業績予想の公表につきましては控えさせていただきます。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	5,500,000 株	2022年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	51,446 株	2022年3月期	51,446 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	5,448,554 株	2022年3月期3Q	5,448,554 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. その他	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、様々な世界的不安定要素があるものの、総じて回復基調で推移する状況となりました。このような状況下において、当社主力製品である「アルファフレームシステム」の一般顧客向け販売は堅調に推移し、装置部門の自動化・省人化装置等についても様々な案件に対して積極的に取り組んだことにより、受注を確保いたしました。また、提案営業の強化、お客様の利便性を高める新製品の開発を推進するとともに、製造原価低減に向けた生産体制の見直しにも取り組んでまいりましたが、原材料価格の高騰による製造原価の上昇を吸収するには不十分であることから、2022年10月より「アルファフレームシステム」の販売価格の引き上げを初めて実施いたしました。しかしながら、物流逼迫の影響による代替部品調達コストの増加や積極的な設備投資による減価償却費の増加に加え、特に原材料価格の高止まりによる製造原価への影響は極めて大きく、利益確保が厳しい状況となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,132百万円（前年同四半期比93.1%）、営業損失は51百万円（前年同四半期は営業利益175百万円）、経常損失は31百万円（前年同四半期は経常利益182百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は19百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益183百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、一般顧客向けの販売では依然として自動車部品関連の積極的な設備投資が差し控えられている中、差別化を図った提案営業活動により安定的な受注を確保いたしました。しかしながら、経済活動再開に伴う「巣ごもり需要」の減少や、物価上昇による消費マインドの冷え込み等の傾向を背景に、一時的にこれらに関連する設備の投資計画が先延ばしとなったことなどによって、売上高は前年同四半期を下回る状況となりました。

この結果、当部門の売上高は3,270百万円（前年同四半期比91.4%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、各種機器・部品等の調達に支障が生じている状況下において、生産ライン設備及び洗浄装置、並びに大型構造物案件等を複数受注したことにより売上高は伸長いたしました。

この結果、当部門の売上高は919百万円（前年同四半期比124.0%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客各社ともに消耗品や治工具類の需要が安定しており、これらの売上高は堅調に推移しましたが、機械設備関係については複数の大型案件を受注したものの、前年の水準までには至らない状況となりました。

この結果、当部門の売上高は942百万円（前年同四半期比79.1%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ417百万円減少し、8,295百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が156百万円、建物（純額）が776百万円、土地が177百万円、それぞれ増加した一方で、電子記録債権が301百万円、仕掛品が168百万円、建設仮勘定が1,101百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ156百万円減少し、3,917百万円となりました。これは主に、電子記録債務が213百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が240百万円、長期借入金が131百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は前期末と比べ261百万円減少し、4,378百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上19百万円や配当金の支払い223百万円があったことにより、利益剰余金が242百万円減少したことや、その他有価証券評価差額金が21百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ9百万円増加し、645百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の163百万円のキャッシュ・アウトに対し、471百万円のキャッシュ・インとなりました。これは減価償却費の計上が217百万円あったことや売上債権の減少による資金の増加331百万円、ならびに未払消費税等の増加による資金の増加83百万円があった一方で、棚卸資産の増加による資金の減少45百万円や法人税等の支払額が91百万円あったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の872百万円のキャッシュ・アウトに対し、70百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が54百万円あったことや有形固定資産の売却による収入が16百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の676百万円のキャッシュ・インに対し、394百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは長期借入金の返済による支出が131百万円あったことや配当金の支払額が222百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、様々な世界的不安定要素にさらされており、中長期的には経済活動及び生産活動は回復することが見込まれるものの、先行きの不透明感は当面続くことが予想されます。

このような状況において、取引先より多種多様な案件の引き合いがあるものの、各種調達機器・部品の不足や納期遅延等が未だに解消されておらず、案件の進捗や納期が不確定な状況が続いております。また、2022年10月より「アルファフレームシステム」の販売価格を改定しており、これらの効果は今後表れてくるものと見込んでおります。よって、今後の動向を見極めるにはもう暫く時間を要すると判断し、引き続き当期の連結業績予想の公表につきましては控えさせていただいております。今後、動向を見極めることが出来次第、速やかに開示する所存であります。

なお、来期以降も様々な世界的不安定要素が続くことが想定されるものの、I o TおよびA Iの進化により、多岐にわたる産業セクターにおいて革新的な自動化・省人化が加速度的に進行しつつある最中、今後ますます高度なクリーンルームおよびF A関連機器・装置のニーズが高まることは、当社にとって中長期的に追い風となります。この高度なニーズにお応えする為、今期中に新経営体制および新組織を構築することにより、更なる営業強化を図っております。そして、当社を取り巻くいかなる厳しい外部環境にも対処することにより、来期以降は継続的な増収増益を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	636,690	645,882
受取手形、売掛金及び契約資産	1,104,409	1,075,639
電子記録債権	1,404,892	1,103,505
商品及び製品	164,712	221,978
仕掛品	479,895	311,312
原材料及び貯蔵品	454,050	610,764
その他	91,434	67,819
流動資産合計	4,336,086	4,036,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,089,342	3,973,158
減価償却累計額	△1,554,015	△1,661,782
建物及び構築物 (純額)	1,535,326	2,311,376
土地	733,647	910,693
その他	2,340,898	1,321,336
減価償却累計額	△766,293	△814,344
その他 (純額)	1,574,605	506,991
有形固定資産合計	3,843,579	3,729,061
無形固定資産		
その他	37,796	30,666
無形固定資産合計	37,796	30,666
投資その他の資産		
その他	495,747	498,890
投資その他の資産合計	495,747	498,890
固定資産合計	4,377,123	4,258,617
資産合計	8,713,210	8,295,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,676	369,102
電子記録債務	954,308	1,167,675
未払法人税等	54,359	—
1年内返済予定の長期借入金	197,000	197,000
賞与引当金	69,036	32,326
製品保証引当金	1,199	871
その他	199,739	286,117
流動負債合計	2,085,320	2,053,092
固定負債		
長期借入金	1,606,000	1,474,500
退職給付に係る負債	228,802	234,809
その他	153,581	154,794
固定負債合計	1,988,383	1,864,104
負債合計	4,073,703	3,917,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,636	145,636
利益剰余金	4,302,199	4,059,454
自己株式	△34,791	△34,791
株主資本合計	4,569,144	4,326,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,450	26,377
為替換算調整勘定	22,879	25,513
その他の包括利益累計額合計	70,329	51,890
非支配株主持分	32	34
純資産合計	4,639,506	4,378,324
負債純資産合計	8,713,210	8,295,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,511,811	5,132,190
売上原価	4,417,820	4,244,145
売上総利益	1,093,990	888,044
販売費及び一般管理費	918,239	939,105
営業利益又は営業損失(△)	175,750	△51,060
営業外収益		
受取配当金	1,618	1,584
仕入割引	3,732	4,132
固定資産売却益	4,336	16,128
その他	5,246	3,469
営業外収益合計	14,933	25,315
営業外費用		
支払利息	6,586	5,714
その他	1,297	111
営業外費用合計	7,883	5,825
経常利益又は経常損失(△)	182,801	△31,571
特別損失		
関係会社整理損	39,249	—
特別損失合計	39,249	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	143,552	△31,571
法人税、住民税及び事業税	53,419	1,843
法人税等調整額	△93,191	△14,060
法人税等合計	△39,771	△12,216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	183,323	△19,354
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△48	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	183,372	△19,354

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	183,323	△19,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,020	△21,072
為替換算調整勘定	△3,782	2,636
その他の包括利益合計	△28,802	△18,436
四半期包括利益	154,521	△37,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,572	△37,793
非支配株主に係る四半期包括利益	△51	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	143,552	△31,571
減価償却費	176,567	217,528
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,949	△36,710
製品保証引当金の増減額(△は減少)	210	△328
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,813	6,007
受取利息及び受取配当金	△1,621	△2,971
支払利息及び手形売却損	6,586	5,714
固定資産売却損益(△は益)	—	△16,128
売上債権の増減額(△は増加)	△356,729	331,216
棚卸資産の増減額(△は増加)	176,692	△45,396
仕入債務の増減額(△は減少)	△171,272	△26,816
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,282	83,396
関係会社整理損	39,249	—
為替差損益(△は益)	△649	—
その他	△29,182	82,077
小計	△48,017	566,018
利息及び配当金の受取額	1,621	2,767
利息の支払額	△6,586	△5,714
法人税等の支払額	△110,969	△91,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	△163,951	471,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△860,409	△54,410
有形固定資産の売却による収入	—	16,205
無形固定資産の取得による支出	△4,066	△4,385
投資有価証券の取得による支出	△3,683	△3,600
その他	△4,671	△24,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△872,829	△70,206
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△65,500	△131,500
配当金の支払額	△222,906	△222,760
その他	△34,734	△40,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	676,858	△394,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	403	2,538
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△359,518	9,192
現金及び現金同等物の期首残高	1,461,114	636,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,101,595	645,882

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. その他

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,526,028	71.8	603,565	45.9
装置部門	821,253	93.1	250,351	73.9
商事部門	1,078,548	121.4	471,612	143.3
合計	4,425,830	83.7	1,325,529	66.9

② 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	3,270,818	91.4
装置部門	919,095	124.0
商事部門	942,275	79.1
合計	5,132,190	93.1